

ウ ル ト ラ ス タ イ ル

ULTRASTYLE

Vol. 40

12.07.01

Free Paper For Gans Junkies

Design by ULTRAS MATSUMOTO

MATSUMOTO YAMAGA F.C.

VS SHONAN bellmare

#あの平塚の夜のように

4年前の2008年10月。

当時、北信越1部に所属していた松本山雅は、今日の対戦相手の湘南ベルマーレと天皇杯で対戦しています。

この紙面の裏面が当時のトラスタです。

初めて憧れのJリーグクラブとの公式戦を控えてワクワクしている様子が、湘南戦へ向け高揚しているのが、この文面からひしひしと伝わってくる。もちろん僕もこのJチームと初の対戦を楽しみに、心待ちにしていた一人だった。

んー、言葉じゃ表しにくいんだけど、ワクワクとドキドキ、興奮とか様々なものが入り混じって、未体験の感覚を味わったことは今でも覚えています。

この頃僕は、高校2年だったのかな。

この日は仲間と一緒に平塚競技場へ向かったのだけれど、もうすでに山雅ユニを着た、たくさんの緑の人、人。

この人の量が今まで山雅では見たことないくらい凄くてね。関東での開催ということもあって、見たことない人も多くて。

歴史的な一戦への高い期待がうかがえました。

その後も待機列は順調に伸び、長蛇の列に。

山雅の待機列の歴史も、おそらくこの試合が最初でしょうね。

公式戦で初のJリーグクラブとの対戦。

この試合を楽しみにしていた人がたくさんいたわけですね。

試合は阿部琢久哉のクロスを湘南から移籍してきた柿本のゴールで追いつき延長戦に突入。

PK戦で勝利をもぎ取ったのだよね。

2009年の浦和戦では再び阿部から柿本のラインでも得点していますね。

延長戦に突入した時は夜の22時を過ぎちゃってさ。鳴り物が禁止になってしまったんだよね。もう、ここから集まった山雅サポーターはさらにひとつになったよね。

手拍子と声のみで、何回もゴールを脅かされてヒヤヒヤしながらも、試合を楽しみながら必死に応援したね。

山雅のジャイキリ伝説もこの試合がキッカケですよ。改めて考えてみると、いろんな「初めて」があった試合だったんですね。

そんな湘南との、あの平塚で、Jリーグへ舞台を移しての今日の一戦！僕はとても楽しみで、ワクワクしています！

当時を知る人は懐かしむもよし。当時を知らない人は、当時の写真やブログ、動画を見て平塚で山雅の色んな初めてを感じるもよし。

山雅の色んな初めてが詰まったここで。**”あの平塚の夜のように”** もう一度、平塚の夜と一緒に盛り上げませんか？平塚の夜を熱くしませんか？

湘南は反町監督や野澤選手らの古巣でもありません。彼らのためにも、絶対に今日は勝利で飾り、08年のあの時のようにみんなで、ここ平塚に勝利の街を響かせようじゃありませんか！

今日もみんなと一緒にやろうぜ！戦おうぜ！よろしくお願いします。